

# 不断の自己改革

## 令和4年度の 成果をお知らせします

JA秋田なまはげでは、農業生産の拡大や所得の増大による地域農業の維持・発展を目指して、多様かつ不断の自己改革に取り組んでいます。令和4年度に行った自己改革の実践内容とその成果についてご紹介します。

### 法人・担い手組織等の設立・運営を支援

地域農業の受け皿としての機能を発揮する農業法人・担い手組織の設立を促進し、法人設立後も収支計画の策定や栽培技術指導、資金対応などといった法人運営に関する支援を実施しました。

〔生産拡大につながる目標〕

令和3年度

令和4年度

42法人 → 71法人



管内の農業法人との事業検討会



栽培研修会で  
生育管理の注意点を確認

### 秋田米新品種「サキホコレ」の産地化への取り組み

秋田米新品種「サキホコレ」の栽培適地や栽培基準、品種特性などをJAや生産者が把握し、高品質かつ安定的な生産を徹底してトップブランド米の産地化を推進しました。

〔所得増大につながる目標〕

令和4年度(作付け初年度)

〔栽培面積〕

〔生産者〕

75.5ha

77戸

### 重点品目・枝豆の販売額の増加

共選場および出荷作業の円滑化や品質維持に努め、地元企業や新幹線を活用した首都圏での即日販売など多様な販売チャネルを展開して、単価の安定化と販売額の増加を実現しました。

〔所得増大につながる目標〕

令和3年度

令和4年度

97,775千円 → 101,609千円



地元企業や  
首都圏での即日販売は  
新鮮な枝豆が楽しめる好評



メーカーなどから直送することで  
輸送費や労力を軽減

### 肥料・農薬直行配送と超大型規格農薬の取り扱い拡大

大規模経営体を対象とした肥料・農薬直行配送と超大型規格農薬を提案し、納品までの流通効率や担い手生産者の利便性の向上、生産コストの低減を支援しました。

〔コスト低減につながる目標〕

令和3年度

令和4年度

28件

34件

### 最新技術による労働力・作業時間短縮等の技術提案

労働力の削減や作業時間の短縮などのため、生産者のニーズをふまえながら、ICT(情報通信技術)を活用した作業アシストや農業用ドローンなどの実証試験、技術提案などを行いました。

〔コスト低減につながる目標〕

令和3年度

令和4年度

20件

31件



田植え作業の省力化が見込まれる  
自動運転田植え機の実演

今年度も自己改革に絶え間なく取り組み、生産者への支援や地域の活性化に努めます。